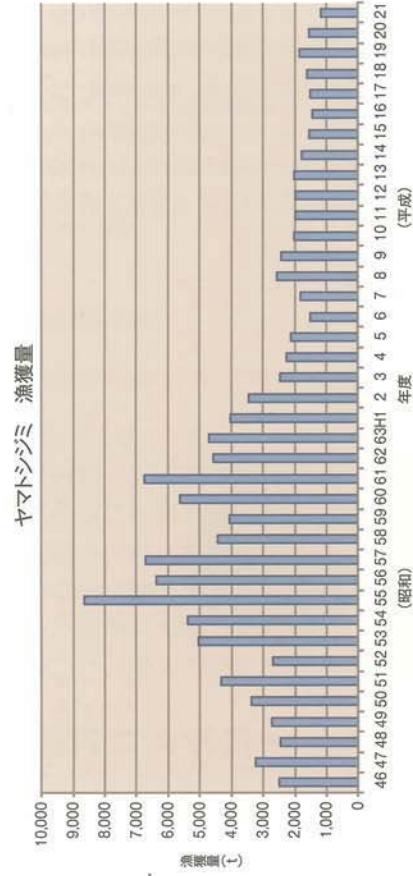
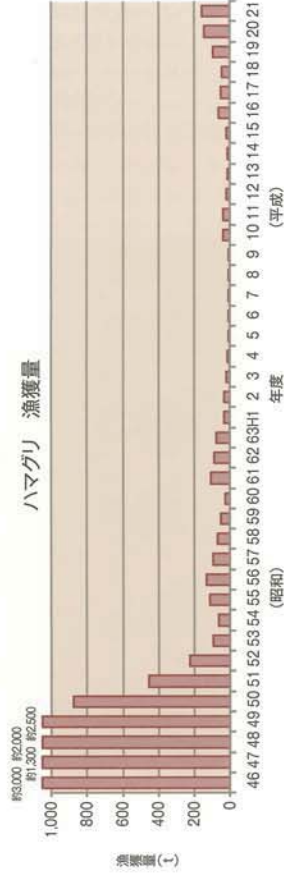


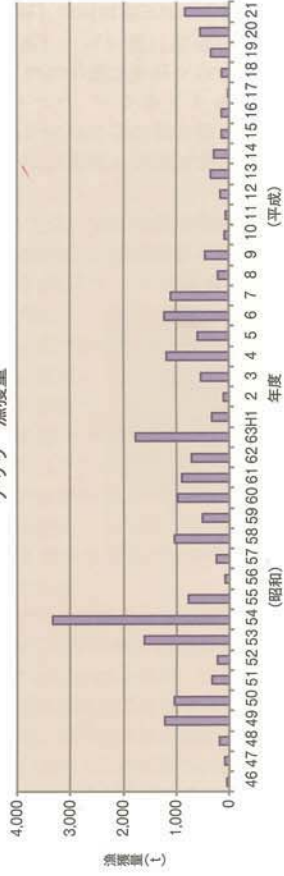
漁獲量の推移



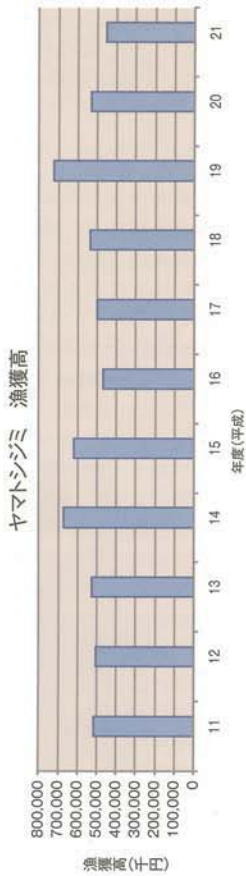
ハマグリ 漁獲量



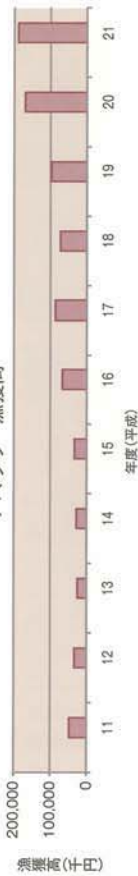
アサリ 漁獲量



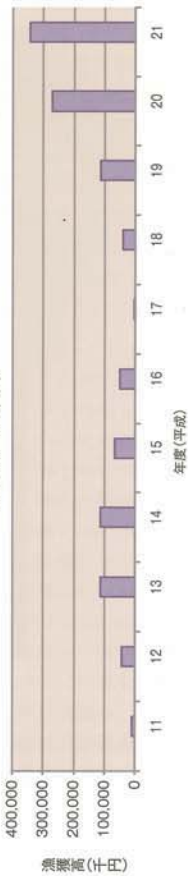
漁獲高の推移



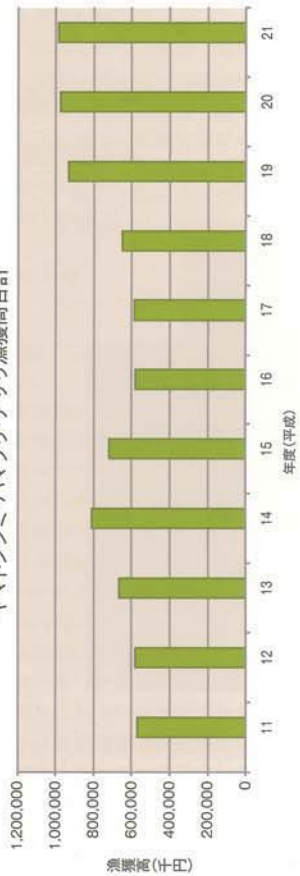
ハマグリ 漁獲高



アサリ 漁獲高



ヤマトジジミ・ハマグリ・アサリ漁獲高合計



赤須賀 伝説の心とこころ

おし喰い以上の 魚や貝はとるなよ

ようけとて儲けたと思ふのに、
なんでこんなこといひのやろと思つた。
けど、資源を大事にせんと、自分で
自分の首を締めることになつと
わかつてきた。
分相成のことしか
したらあかんのや。

海や川だけやのいへ、 山にも手を合せ

われらが漁するのは、海と川やで、そこを
良からたら文之もやと思つた。
海お川から流れてきた水やし、川のもとは山や。
山が変わると海も変わる。このえ、漁場は
もとをたどれば山のおかやげや。

ゴカイやヒジムシも 大事にせなあかんぞ

ゴカイやヒジムシ取つとるわけやないのに、
おかしなこといらなと思つた。生きとるもんは、
みんな何か喰つて生きとんのや。
エサが育つとこが無かつたらあかん。そのエサも、
何かも喰つとる。このつながりまどどかて絶つたら、
みんな死んでしまふ。人間もな。



赤須賀のころ

自然の恵みをうけてはぐくまれてきた
赤須賀人のこころは
親から子、子から孫へと受けつがれてきた

赤須賀

